

平成 23 年 6 月 10 日

法務大臣 江田五月 殿

中司宏を支援する会

代表 和泉 克弥

「大阪地検特捜部事件の調査・検証と取り調べの全面可視化を求める署名」の賛同者署名簿を提出いたします。

江田五月法務大臣におかれましては、郵便不正事件に絡む大阪地検特捜部の不祥事を受けて、取り調べの全面可視化をはじめとする検察・司法改革に積極的に組んでおられますことに心から敬意を表します。

私たちは、平成 19 年に当時の中司宏枚方市長が逮捕・起訴された談合事件が冤罪であるとして、現在上告中の中司氏を支援しています。

中司氏と同じく談合罪に問われ無罪が確定した小堀隆恒前副市長が、「検察の在り方検討会議」のヒアリングで酷い取り調べの実態を述べられたことに対し、但木委員が元検事総長として謝罪されました。

このことは、枚方談合事件が、検察ストーリーのような官製談合ではなく、検察が無理に作り上げた冤罪事件であったことを物語るものと考えています。

私たちは、このような冤罪を生み出した大阪地検特捜部の捜査の誤りを指摘して調査・検証を求めるとともに、二度と冤罪が起きないように取り調べの全面可視化を求めて、下記の通り賛同者署名簿第 2 次分を提出いたします。なお、第 1 次分は本年 4 月 18 日に提出しております。

どうか、署名に賛同する国民の声をお聞き届け下さいますようお願い申し上げます。

江田大臣をはじめ、みなさまの益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

記

賛同者署名簿第 2 次分 第 1～第 3 分冊、オンライン署名 1 冊 計 16432 筆

第 1 次、第 2 次の総計 41600 筆